令和８年度

一般社団法人宇部観光コンベンション協会

事業計画書

緑と花と彫刻のまち 宇部

一般社団法人
宇部観光コンベンション協会
Ube Convention & Tourism Bureau

令和８年度　事業計画書

◇事業方針

人口減少社会が及ぼす地域経済の衰退が叫ばれる中、地域を活性化し、持続可能な地域づくりを行うことが喫緊の課題となっています。その課題解決のため、交流人口を増やすことが重要であり、国の観光立国推進基本計画でも、観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札と謳われています。本協会は、平成３１年３月に観光地域づくり法人（DMO）の登録を受けたことから、現在、地域が一体となって観光に関する取組を推進するための舵取り役を担っています。令和８年度も引き続き、DMOとして、観光地域づくりを行うことについての市内の多様な関係者の合意形成を図るとともに、『観光地経営』の視点に立った各種データの継続的な収集・分析・検証、ＫＰＩの設定を行い、ターゲットを絞った効果的な事業を実施してまいります。

本市の観光施策の中で、一般の旅行に比べ高い旅行消費を生むコンベンション誘致は、山口大学医学部・工学部や宇部工業高等専門学校などを有していることから、最優先に取り組むべき事業です。一昨年３月末をもって事業終了した市内最大のホテルが、本年春には新事業者により再開し、更には夏に新たなホテルのオープンも予定されており、コンベンションの誘致も新たな局面を迎えることとなりました。令和８年度も、市内施設の情報や県内最高水準の助成金制度の情報を関係者に提供し、積極的にコンベンション誘致を進めてまいります。

次に、訪日外国人旅行客（インバウンド）については、令和７年は大阪・関西万博の人気もあり、初の４，０００万人超えとなりました。令和８年も多くの来訪が予想されることから、団体旅行だけでなくＦＩＴ（個人旅行）の観光客も獲得するため、ウェブサイトやＳＮＳを活用した情報発信を行います。

大きな経済効果を生むインバウンドですが、国内の一部の主要な観光地ではオーバーツーリズムとなり、地域住民の生活や自然環境にもたらす負の影響が社会問題となっています。そのため、観光客受け入れには、持続可能な観光（サステナブルツーリズム）を念頭に誘客を図ってまいります。

令和８年度は、県を挙げて山口デスティネーションキャンペーン（山口ＤＣ）が実施され、特にプロモーション活動が強化されることから、県や県観光連盟と足並みを揃えて事業を実施してまいります。また、山口県央連携都市圏域での広域での誘客にも引き続き取り組むとともに、宇部・美祢・山陽小野田の３市で実施してきた産業観光は、山口ＤＣ期間中は下関市の企業の協力により新たなツアーも造成します。この圏域に根差した産業を観光資源として紹介し、普段は体験できない場所を巡る産業観光について、山口ＤＣを契機に全国に情報発信します。

観光は運輸、宿泊、旅行、飲食、小売などのサービス業、更には、農林水産業に至るまで裾野が広く、地域活性化のためには欠かせない施策です。観光により市外から多くの人が来訪し、宿泊してもらうことが関連事業者の活性化につながります。そのため、市内最大の観光施設であるときわ公園を中心にその他の地域資源を組み合わせた着地型商品の造成・販売を行い、山口ＤＣという大きなチャンスを逃すことがないよう、県や県観光連盟との連携の中で、本市の魅力を一人でも多くの人にアピールします。

令和８年度、本協会は３０周年を迎えます。第五次宇部市総合計画前期実行計画や観光交流アクションプランの施策の方向性に沿った形での観光の振興はもちろんですが、３０年という節目の年を新たなスタートとして、市内の観光関連事業者と連携を密にし、更なる観光交流人口の増加のため、以下の重点施策と各部会の事業を実施します。

◇重点施策

持続可能な観光地域づくりに向け、事業方針に沿って、次の５項目を重点施策として取り組みます。

１　DMO ＵＢＥの形成・確立に向けた、マネジメント機能とマーケティング機能の充実強化
２　コンベンションを中心にＭＩＣＥ〔Meeting（会議・研修・セミナー)、Incentive tour（報奨・招待旅行)、Convention またはConference（大会・学会・国際会議)、Exhibition（展示会）〕の誘致と受入・支援体制のさらなる強化
３　インバウンド向けの効果的な情報発信と地域ガイドとの連携
４　山口デスティネーションキャンペーン（山口ＤＣ）に向けた着地型商品の造成と販売による誘客拡大
５　効果的な情報発信による本市の認知度向上

◇事業別計画

Ⅰ）コンベンション部会

（１）コンベンション誘致強化事業
① 中国・四国地区コンベンション推進協議会や山口県ＭＩＣＥ誘致推進協議会に参画。総会等において情報を収集
② 拡充した助成金交付制度の周知等を図り、誘致・支援サービスのワンストップ窓口として、大会開催を支援
③ ＭＩＣＥの誘致強化のため多くの関係者と協議を行い、情報を共有
④ 広域連携（「山口ゆめ回廊」観光推進協議会）による誘致・支援を実施
⑤ 全国的規模の組織団体やＰＣＯ等への積極的なプロモーションを展開
⑥ 山口大学医学部・工学部の協力を得て、相談会を開催するほか、広く情報提供

（２）コンベンション大会歓迎事業
① 大会規模等により、空港・駅等に歓迎旗、看板を設置
② 主催者へ観光パンフレット、手提げ袋等を提供
③ 会場・宿泊施設・アフターコンベンションの紹介など

（３）コンベンション開催助成事業
① 県内大会を除き、宿泊を伴う学会・大会等を開催した主催者に対し、その宿泊延べ人数に応じて助成金を交付

② ①の主催者で、１日あたり５００人以上の大規模会議の利用がある場合、会場借上料に対し助成金を交付
③ ①の主催者で、延べ１５０人以上の参加者が見込まれるものに、コンベンション開催時のシャトルバス等の運行費に対し、助成金を交付

（４）学会・研究会誘致促進委員会
① 高専・大学関係者と情報交換会を行い、誘致策等を検討するとともに、定期的に大学等を訪問し、関係者にコンベンションの誘致に係る支援内容を周知
② 学会・研究会開催の事前情報を収集し、関係団体等に情報提供を行うことにより、宿泊・飲食業・土産店等への経済波及効果の向上を促進
③ 学会等を開催した主催者に、準備・運営等での問題点や要望をアンケート等で調査し、委員会において対策等を検討

（５）グルメガイド作成事業
各種学会や大会等の参加者に､飲食や観光情報を掲載したハンディタイプのグルメ＆ナイトスポットガイドを作製し、配布

Ⅱ）観光推進部会
（１）観光まちづくり推進事業
市場の動向や評価等の調査分析と、明確なコンセプトに基づいた戦略の策定、調整

（２）インバウンド推進事業
① 公式ウェブサイトやＳＮＳで、本市の魅力を情報発信するとともに、宿泊・飲食・交通等観光関連事業者と、受入れに関する情報を共有
② インバウンドの本市への誘致のため、可能な限りサステナビリティに配慮した旅行コンテンツを紹介
③ 令和４年度及び５年度に養成した地域ガイドの活用

（３）着地型商品開発・販売事業
① 山口ＤＣへの誘客のため、県や県観光連盟の観光コンテンツのＰＲにあわせ、観光素材となり得る本市ならではの地域資源を、魅力的な観光コンテンツとして情報発信
② 着地型旅行「うべの魅せどころ」（複数の体験プログラムやバスツアー）の造成
③ 実施したツアーの検証、課題への対応によるコンテンツのブラッシュアップ

（４）宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会事業
① 宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会の事務局として、募集型ツアーを造成

② ツアーの催行率を高めるため、ストーリーの見直しによるコース設定や参加しやすい時間等の検討及び体験型コースの拡充を行い実施

③ 「しものせき観光キャンペーン実行委員会」と協力し、山口ＤＣ開催にあわせ特別版を造成

（５）広域観光連携事業

令和２年度・３年度に山口県央連携都市圏域で開催した「山口ゆめ回廊博覧会」の組織を承継する７市町の観光協会と行政とで発足した『「山口ゆめ回廊」観光推進協議会』に参画。広域連携により、山口ＤＣとの連携観光誘客を促進

（６）ホスピタリティ推進事業

① インバウンドを含めた観光客の満足度を高めるため、観光事業者のホスピタリティのレベルアップのための支援

② 紙芝居や彫刻清掃等の活動への支援をとおして、文化や歴史・伝承等で地域の魅力を向上

（７）観光案内所事業

ＪＮＴＯ（日本政府観光局）認定外国人観光案内所（※カテゴリー１）として外国人観光客に情報を提供

※カテゴリー1　多言語翻訳システム等で英語対応できる体制。地域の観光や交通情報を提供

（８）にぎわい創出事業

① 宇部まつり

宇部市最大のまつり、「第７５回宇部まつり」を宇部市、宇部商工会議所及び関係団体等と連携し、実施【１１月１日（日）予定】

② 宇部市花火大会

「宇部市花火大会」を宇部市及び宇部商工会議所と共催し、実施

【7月２５日（土)】

③ 新川市まつり

新川市まつり実行委員会に参画し、協力【5月５日（祝)】

（９）協会３０周年記念事業

協会３０周年を記念し、ときわ公園彫刻の丘で、彫刻をクローズアップするとともに、音楽などのパフォーマンスで夜まで楽しめるイベントを開催【１０月１１日（日)】

Ⅲ）広報交流部会

（１）公式ウェブサイト・ＳＮＳ開発・会報発行事業

① インターネットの活用

公式ウェブサイトやＳＮＳを活用して、観光・コンベンション情報を積極

的に提供。また、宇部市と「ときわ公園」等のイベント情報をネット上で一括して共有し、効果的に発信

② 協会だよりの発行

協会の年間通した部会活動や事業紹介等の内容を掲載した「協会だより」を年２回発行（うち１回は公式ウェブサイトでのみ掲載）

（２）協会３０周年記念式典及び新年交流懇親会事業

協会が３０周年を迎えるにあたり、記念式典を開催。あわせて、観光・コンベンションの関係団体や協会会員同士の交流・懇親を深めるため、新年懇親会を開催

（３）観光宣伝事業

① 公式ウェブサイトやＳＮＳ等を活用し、ときわ公園や産業観光、ＵＢＥ現代日本彫刻展などをＰＲし、誘客を促進

② 山口県・山口県観光連盟、宇部市と連携して、山口ＤＣのプロモーション活動を中心に各種イベント等に参加し、本市の観光資源をＰＲ

（４）まちづくりへの積極参加

観光交流施設、交通関連等の整備やにぎわいづくりなど、市と連携しまちづくりへ積極的に参画

・宇部市地方創生推進協議会　　・宇部市産業振興計画推進委員会
・宇部市文化振興まちづくり審議会　・宇部市中心市街地活性化協議会
・宇部市公共交通協議会　　・ＪＲ宇部線利用促進協議会　　ほか